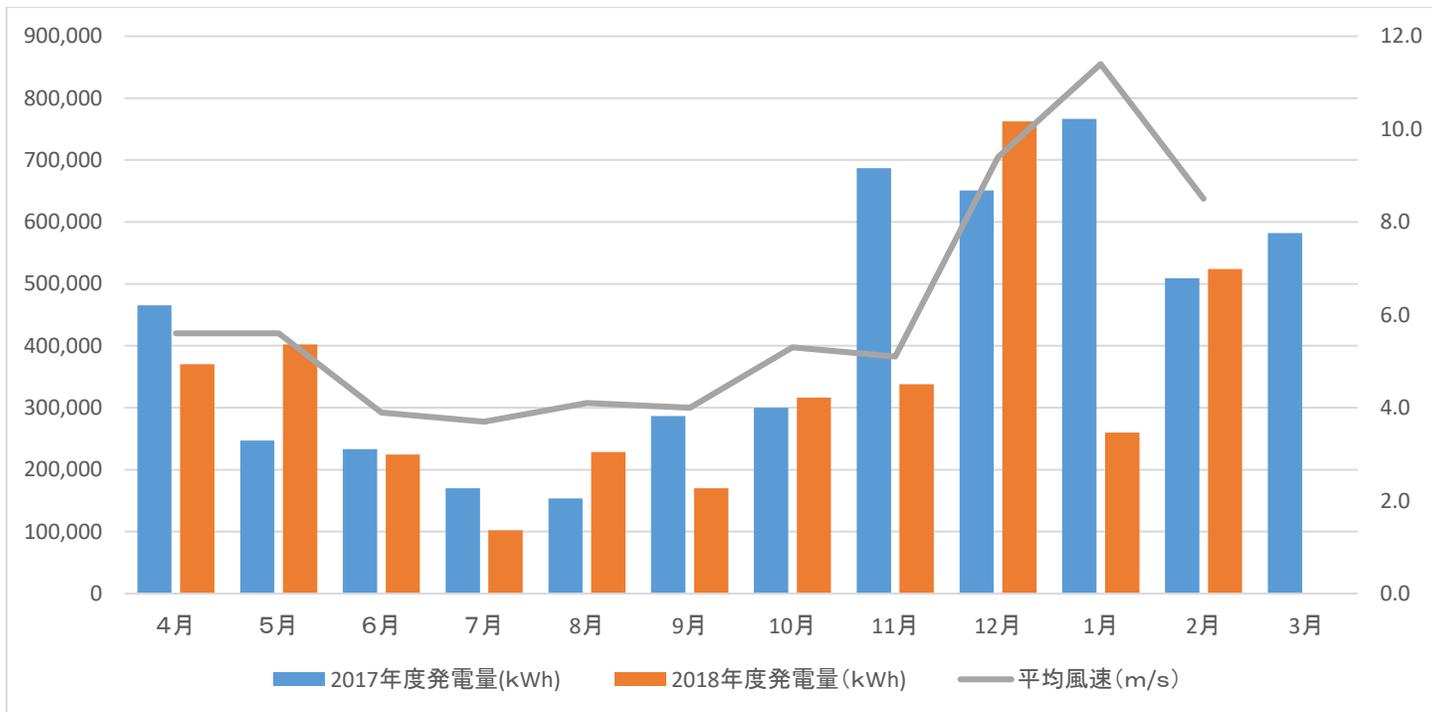


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

## ○ 発電実績



## 2月度運転状況について

- 1月8日に増速機中速軸受に軽度な損傷を確認し、部品交換までの間、風車の運転を保安停止しました。  
部品の手配が交換工事の目途がたった為、2月5日より再稼働しました。
- 風況は前年に比べて0.4m/s低い実績となりました。
- 前年は解列が6日あり発電量が低かったことから、今年は前年比102.9%の発電量となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	370,505	5.6	96.6
5月	402,151	5.6	92.3
6月	224,714	3.9	98.4
7月	102,149	3.7	76.2
8月	228,380	4.1	96.9
9月	170,112	4.0	96.8
10月	316,349	5.3	94.4
11月	337,943	5.1	99.9
12月	762,460	9.4	97.1
1月	260,072	11.4	24.3
2月	524,081	8.5	83.4
3月			

## デポーにかほフェア開催報告

2019年2月25日から3月3日の期間で、生活クラブ東京、神奈川、千葉のデポー(店舗)で「にかほフェア」が開催されました。秋田県にかほ市に生活クラブ風車「夢風」を建設したことを縁に、2013年8月ににかほ市と生活クラブで「持続可能な自然エネルギー社会に向けた共同宣言」を行い、その宣言の基に、にかほ市の物産の取組みから夢風ブランド品の開発を行ってきました。今回のデポーにかほフェアでは、夢風ブランド品5品目とにかほ市の物産品8品目を取組みました。

また、2月28日～3月2日には、にかほ市の生産者の方を中心に8名の来所がありました。参加していただいた方々は、三浦米太郎商店の三浦悦朗代表取締役、伊藤製麺所の伊藤実代表、日南工業(株)の服部進一さん、佐藤勘六商店の佐藤玲代表、でんべいかれい生産グループの渡辺郁子代表、四つ葉ネットワークの池田千鶴子さん、芹田自治会の荒川定敏前会長、にかほ市企画調整部まちづくり推進課の越川雄一さんです。生産者の方々のデポーでの様子をご紹介します。



### 2/28(木)生活クラブ東京へ

午後から、23区南生活クラブのデポーせたがやと、北東京生活クラブのデポーすぎなみ永福の2チームに分かれて、アピールを行いました。

デポーすぎなみ永福では、組合員の皆さんによる「生活クラブでんき」の紹介と、鱈しょつるを使った大根と人参のスープ、タラーメン醤油味の試食を行いました。生憎の雨ふりでしたが、デポーに来た組合員の方々にはにかほフェアの物産を手にとっていただき、生産者から直接お話することができました。日南工業の服部さんからは、試食が美味しいと言って目の前で鱈しょつるを購入してくれる組合員と出会うことができ、普段はこういう機会は無いので、大変良い経験となったと話されていました。



<すぎなみ永福 右端:伊藤さん、隣:服部さん>



<せたがや 左:古川理事、右:田中副理事長>

### 3/1(金)生活クラブ千葉へ

午前午後で、A チームは、新松戸デポーとおおたかの森デポーへ、B チームは、真砂デポーと浦安デポーでアピールを行いました。



真砂デポーでは、タラメン、エビっこ、ドライいちじくや鱈しょつつるを使ったピクルスなどの試食を用意して、賑やかに「にかほフェア」を開催しました。

生産者が組合員の方に作り方や食べ方を紹介したり、にかほ市や芹田地区のことや、生活クラブ風車「夢風」についても紹介することができました。

真砂では、でんべいかれい生産グループの「エビっこ」が人気で、完売となりました。

<真砂デポー 手前:佐藤さん>

### 3/2(土)生活クラブ神奈川へ

午前午後で、A チームは、横浜北生活クラブの大丸デポーと市ヶ尾デポー、かわさき生活クラブのたかつデポーで、B チームは、横浜みなみ生活クラブの緑園デポーとさがみ生活クラブの南林間デポーでアピールを行いました。

緑園デポーでは、はたはた飯の素を使った炊き込みご飯の試食を組合員と共にアピールしました。

たかつデポーでは、タラメンの試食をしながら、おおぜいの組合員の参加で元気ににかほフェアのアピールを行いました。ワーカーズの方にもタラメンを試食いただき、初めて食べたけれど、美味しい！との感想を頂きました。



にかほ市からの生産者の皆様、3日間デポーにかほフェアへのご参加ありがとうございました。

<たかつデポー 手前左:伊藤さん、中央:渡辺さん、右:服部さん、

中列右端:柴田政策調整部長、隣:佐野かわさき生活クラブ理事長>

## 風車 Q&A

Q: 風車の寿命は何年ぐらい

A: 風車の寿命は一般的に 20 年で設計しています。

大型風車は約1万～2 万個(自動車と同じ)の部品から構成されますので、ブレード(羽)のような主要部品の寿命を 20 年としています。タワーは 30 年以上持ちますが、点検時に時々交換しなければならない消耗品もあります。

ブレードの強度を調べるには、半年ぐらいの期間に集中して 20 年間に想定される動的な変動荷重を加え続ける疲労試験を行います。また、台風や春一番のような一過性の強風についても、強風を模した大きな荷重をブレードに加えてゆきどの程度まで耐えられるかを調べます。

風車の増速機は時間によって変化する低速回転数を、大きな増速比(2MW で約 100 倍)で発電に必要な回転数まで上げています。そのため丁寧なメンテナンスが必要です。

生活クラブ風車「夢風」は、(株)市民風力発電と連携して丁寧なメンテナンスやオペレーションを行っています。また、ドライブトレインの振動を遠隔監視する装置を設置し、監視を行っています。

## (株)市民風力発電 つながる通信 より抜粋



### 見学者に教わった建てる喜び

「夢風」から始まった第 2 の仕事人生

秋田県南西部に位置し、西に日本海を臨むにかほ市は、古くは北前船の寄港地として大いに栄え、上方と東北の間の商品流通を担っていた。旧仁賀保町の平沢港近くには室町時代に創業した蔵元がふっくらした酒を造り続け、城跡や陣屋敷などかつての賑わいを今に伝える史跡も多い。

近年、市では安定した強い風が吹く土地を活用

するため風力発電所の建設を受け入れている。中でも鳥海山の山麓、標高 500mほどの仁賀保高原に集中し、林立する風車群の風景は圧巻だ。

事業開発部で土木建設系の責任者である奥原正好が、この街を初めて訪れたのは、2011 年のことである。以前勤務していた電気工事会社が、生活クラブ風車「夢風」(2012 年 4 月運転開始)の建設業務を請け負い、現場監督として 1 年ほど過ごした。それまで多く風力発電所の建設に携わってきたが、市民風車の工事で出会ったのはそれまで付き合いのないタイプの人だった。

「事業主が生活クラブさんということもあって女性の組合員さんたちが現場まで見学に来られたり、竣工したときにはとても喜んでくれました。それまでは、無事に建てて当たり前でしたから、経験のないことばかりで驚きました」。初めこそ戸惑ったものの、人とのつながりは励みが変わった。社長の鈴木とも親しくなり、定年退社後に請われて再就職。「夢風」との出会いから第 2 の仕事人生が始まった。